

第五回避難体験とコンサート 特別公演

日本舞踊と 避難体験

—コロナ禍の中で—

第五回
避難体験とコンサート

日本舞踊と 避難体験

令和2年

十二月十三日(日)

所沢まちづくりセンター

中央公民館

問合せ 所沢まちづくりセンター
中央公民館
01-2926-9355
共催 所沢まちづくりセンター
NPO法人シアターサポ
協力 所沢中央消防署

いつか来る

災害に備えて

いざという時の

助け合い

常磐津
雷船頭

男
新門辰五郎

説明と解説
シアターサポ + 英御流真樹

出演
家元 英御流寿光
英御流真樹
他

義太夫
櫓のお七

令和2年12月13日 日曜日
開場 参加登録者受付開始 午後1時半
開演 午後2時
終演予定 午後4時半
所沢まちづくりセンター中央公民館ホール

「日本舞踊と避難体験」 — コロナ禍の中で —

参加要項

この公演は関係者のみが観客となる特別公演です。

共催委員並びに舞台スタッフ・出演者(以上、紹介者)と直接連絡の取れる関係者のみが観客となります。

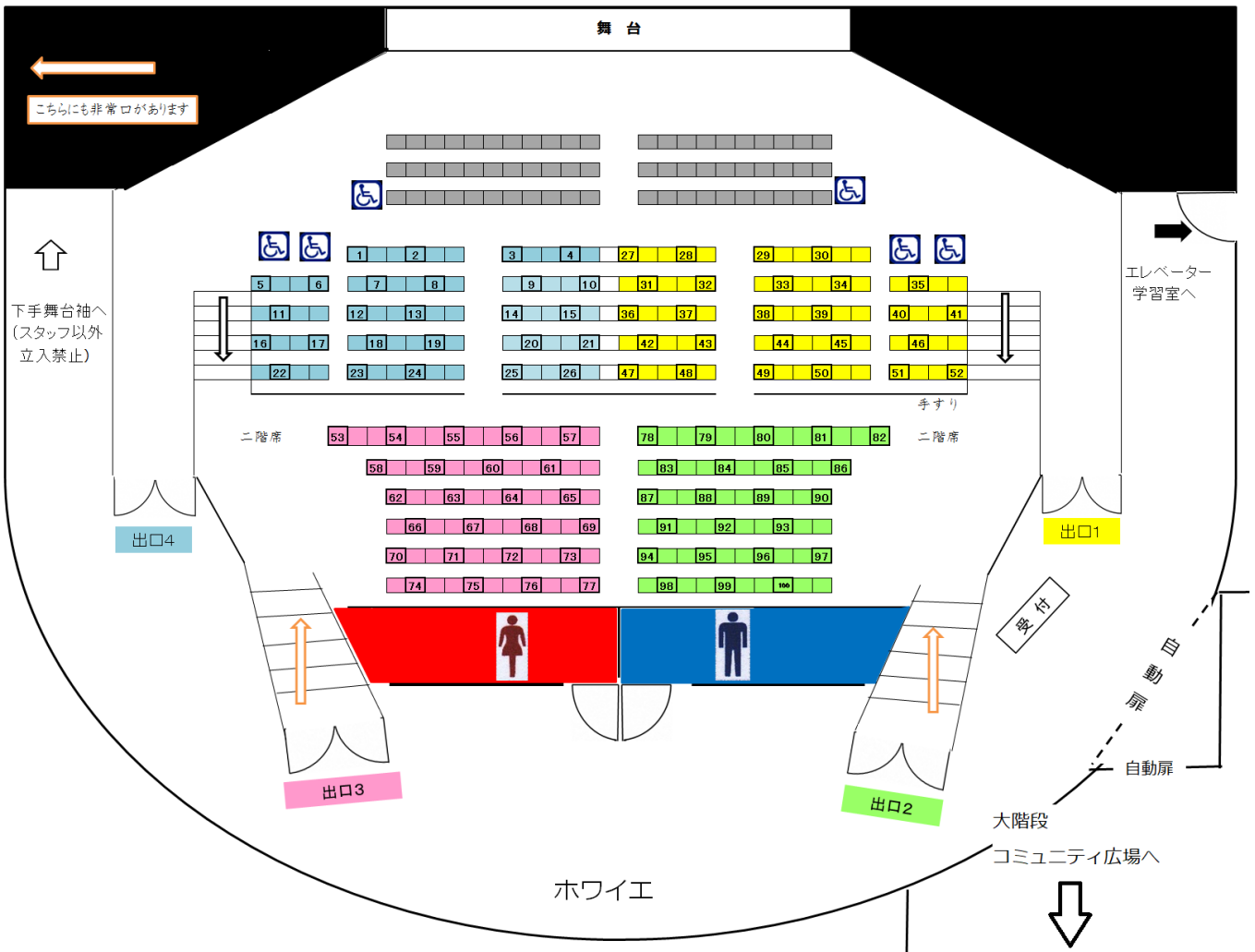
参加するには

- ① お名前・連絡先・紹介者名などを参加登録申込書に記入し登録します。
- ② 登録された方には「参加登録証」を発行します。
- ③ 「参加登録証」裏面の注意事項をお読みください。
- ④ 当日受付にて「参加登録証」の確認をさせていただきます。
- ⑤ 座席はすべて指定席です。

ホールの座席は感染防止のために他の来場者と2つ座席をあけてあります。出来る限り参加登録証に指定された出入口から入退場してください。

避難の際は、社会的な距離を保ったままの避難行動を試みます。

この避難行動は、コロナ感染状況下で出来る限り感染防止処置をとり実施しますが、リスクはゼロではありません。ご了承ください。



避難体験の進行

ホールの公演の最中に、非常事態が発生したと仮定して、避難行動の予行演習を出演者・スタッフ・観客の方々と行い、そのあとでふりかえりと意見交換を試みます。

①公演に入る前に説明

非常事態発生時にホールの状態がどのようになるか、注意すべきところはどんなところか説明があります。

ハンディキャップのある方々の緊急時の対処、周囲の手助けなどについても話題提供があります。

その後公演を開始します。

②公演が進行している最中に非常事態が発生し、実際に避難行動を行います。

コロナ感染状況下、社会的な距離を保ちつつ避難を試みます。

- 手助けをしようと思ったが、「社会的な距離」は手出しを禁じている？
 - 非常灯のみの暗い中での避難行動はどのようなことを感じるか？
 - 聴覚障害者であることをどのように周囲に伝えるか？
 - 手話など知らない場合、聴覚障害者どのように意思疎通を図るか、身振り？
 - 非常時に手話通訳者は、どこまで通訳を続けるべきか？
 - 避難が終わるまでどのくらいの時間がかかるか？
 - 車いすに乗っている人はどうやって階段をおりて避難する？
- 以上のような観点に着目してコロナ禍での避難行動を試みる予定です。

③終了後に感じたことを交換し、意見を交わして実際に起きる時に備えます。

意見交換は、備え付けのマイクまたはワイヤレスマイクで行います。

ワイヤレスマイクは、話者の変わるたびにマイクカバーを交換します。

終わると休憩です。

休憩の後、公演を再開します。

観客となった関係者の方々へ

- コロナ感染拡大防止処置を前提として、観客としての行動をすることにありますが試験的な試みです。出現した状況下で即興的な行動が必要な場合もあるかもしれません。**そのためリスクは存在します**。ご理解の上で参加ください。
- 当日の観客席には、コロナガイドラインの体調チェックを済ませた日本舞踊・舞台スタッフ及び社会福祉協議会や公民館関係者も同席し、全員「観客」として行動を共にします。
- 情報保障処置として手話通訳を依頼し、実験的な試みですが、市販のソフトにより会話を即時に文字変換し、投影を試みます。ただし舞踊演技時の字幕はつけません。当日配布の資料を参照ください。

避難行動についての注意

- 怪我のないように、あわてずに行動しましょう。
- 貴重品の管理は、ご自身でお願いします。
- 当日来場の際には、マスク着用をお願いします。
- 当日は記録のためにスタッフがビデオ・写真撮影を行います。
- 新聞テレビなどのメディアの取材が入る可能性があります。

予約登録開始は十一月十日（火曜日）

問合せと申し込みは 公民館窓口または、共催委員・スタッフ・出演者へ

共催委員（スタッフ名は7ページ参照）

中山人 杉澤綾乃 伊藤駿 小林正（以上 公民館）

佐々木由紀夫 土田正栄 土田庸美 浦田昭雄 肥田栞節子

宮下麻里 成沢富雄（以上 シアターサポ）

出演者

英御流寿光 英御流真樹 池田明日香 桑江玲



演目紹介

清元 玉兔

昔話「かちかち山」を題材に。舞台は野に秋草、月が出ている。序盤はうさぎとたぬきの餅つき。「むかしむかし」でカチカチ山のお話に入ります。うさぎがたぬきの背中に火打石で火をつけ、傷口に薬といつわってトウガラシを塗り付け、その後、たぬきを泥で作った船に乗せ、ブクブク沈んで行くのを楽しむうさぎ… 初めて日本舞踊を見る方にとってはわかりやすい演目。今回はうさぎとたぬきの二人立ちで御覧いただけます。

英御流真樹

桑江玲

義太夫 櫓のお七

江戸時代江戸本郷の八百屋の娘お七が、恋人の危機を救いたい一心で火事の時にしかたいたってはいけない太鼓をたたき、木戸を開けて恋人吉三のもとへ危機を救う宝刀を届けます。その一途な娘の恋心を人形振りで表現します。本名題「伊達娘恋緋鹿子（だてむすめこいのひがのこ）」

池田明日香

人形遣い 英御流寿光

男 新門辰五郎

江戸時代末期に実在した町火消。浅草十番組「を」組の元締めで、きつぷの良きで名を挙げました。幕末期は徳川慶喜の警護も担い浅草寺界隈の取り締まりも頼まれました。曲はそんな新門辰五郎を唄ったもの。江戸庶民の粹でいなせな所作の魅力がたっぷりの踊りです。

英御流寿光



一口メモ

下座音楽 歌舞伎は音楽と所作と台詞と語り、これらが一体となって舞台を進めてゆきます。その音楽の総称、黒御簾音楽とも。楽器は三味線、太鼓、大太鼓、笛、鉦など

義太夫 義太夫節といわれ、舞踊と芝居という分け方でいえば、他の歌舞伎音楽の中でも芝居により近く、語り物の系統です。

清元 これも浄瑠璃といわれる語り物音楽の一種です。常磐津節・富本節・清元節などがあり、清元節は江戸後期19世紀になってから富本節から分かれ出来ました。

スガガキ合方 「吉原雀」では、放生会の解説のあとに、吉原に入ってゆきますが、そこにかかる音楽。いかにもにぎやかな派手な印象の曲調です。廓の女郎衆が、客寄せのために演奏した見世スガガキから生まれ、吉原や廓の表現に用いられています。

柝(き) 拍子木のことですが、歌舞伎の世界では「柝」と呼びます。様々な使われ方がありますが、役者の芝居が決まった時のほか、始まりと終わりにも柝が入ります。また役者の到着を知らせるなどにも使われています。

清元 吉原雀

男女の鳥売り二人の踊り、放生会の由来から始まり江戸の吉原遊郭のようすを描き出します。放生会は生き物の命を助けることで徳を積もうというのが本来の趣旨ですが、放生会用に鳥が売られ、人々はわざわざそれを買って放すというものです。小金を持った吉原の客はよいターゲットになると鳥売りが吉原へやってきます。吉原雀とは廓をひやかして歩く客の仇名でもあります。踊りは遊女と客のやりとりも見せ、遊女をかごの鳥になぞらえ鳥尽くしとなります。

本名題『筐花手向橋(かたみのはなたむけのそでのか)』。文政七年二月江戸市村座の大切所作として初演。

英御流寿光
英御流真樹

演者紹介

英御流寿光 はなぶさごりゅう ひさてる (家元)

先代宗家 英御流冠翁(かんおう)と宗家 英御流寿花(ひさか)の次男として生まれ。幼少から冠翁先生の指導の下、舞踊の舞台に立つ。人間国宝 七代目中村芝翫先生(成駒屋)の門人(初代中村芝光)となり、歌舞伎の舞台で研鑽を積む。その後、流派の垣根を払った、わかぎ会を立ち上げ様々な演出の舞台を創る。中村流家元中村梅彌先生より中村芝草の名を頂き、研鑽と後進の指導にあたる。

英御流真樹 はなぶさごりゅう まき (師範)

二歳で初舞台、十七歳で師範となり舞踊家人生を歩む。日本舞踊を軸に舞台技術も学び、地元所沢で舞踊家集団21世紀会を立ち上げる。「日本のおどり」と銘打って毎年活動展開している。

池田明日香 いけだあすか (小学六年生)

桑江玲 くわえれい (小学四年生)

災害発生時にどんなことが起きるか？

ホールの停電

非常灯

地域の変電所が不具合を起こしたり、近傍に落雷があったりした場合などに、配電されている電気が切れてしまうことはあります。

その場合には、一瞬ホール内の電灯は消えますが、数秒後に非常灯が点灯します。非常灯により月明かり程度の明るさは最低限確保されます。出入口は避難誘導灯が30分は電力の供給なしで点灯しています。

非常放送設備

配電されている電気が切れるとホールの放送設備は使えなくなります。

舞台スタッフ及び会場スタッフは、赤色誘導灯や文字盤、そして声により観客の誘導を行うこととなります。公民館の1階事務室には非常用放送設備があります。そこから施設管理者からのお知らせが流れることもあると思います。

ホールの天井などの内装材の落下

建物そのものは相当の地震でも耐えられる建築基準で建てられています。しかしホールの天井は、石膏ボードや板材を吊り金具で吊って固定しています。客席電灯やスピーカー、空調設備なども同じ構造で施工されています。縦だけでなく、斜めにも吊り金具がついていれば揺れには強いのですが、限界もあります。強い地震ではどのような力がくわわるか不明なことも多いと思います。

このような天井からの落下物から身を守るには、椅子の背もたれよりも低い位置に体を運ぶ必要があります。

また、その時に頭部だけでなく首筋の頸動脈を守るようにしてください。

避難経路

このホールの外壁はガラスがはめ込まれています。強い地震の時には、ガラスが割れて落下する危険もあります。避難経路が落下物でふさがれていたり、割れたガラスが高い位置に残っている恐れもあります。

このような時には、避難経路を変更します。表の大階段だけでなく、舞台裏通路から西側の歩道に抜ける非常階段があります。そこから表の歩道まで一人ずつですが下りることができません。

障害者とヘルパー／介助者の行動ガイド

意外に思えるかもしれませんが、災害発生時にヘルパーさん介助者さんが何をするかは業務規定はありません。何が起きるか分からないので、具体的な行動を定めることは難しいと考えられます。また、自身も被災者になってしまい、例えば保育園に子供を預けていたり、家族が家に一人だけいたり…という事情も発生します。ですので、災害弱者といわれている障害者において自身の身の安全や都合を優先しても責められないと思います。ですが、そうした緊急時にどんな手立てがまだ残っているか、なにができるか、介助者さんやヘルパーさんを派遣する組織ではガイドラインを定めるところも増えています。

車椅子利用者の避難行動に他者はかかわれるか

最近では駅やバス停でも車いすやベビーカーがスムーズに乗車できるようになってきています。自然とそうだったわけではなく、障害者とヘルパーたちの鉄道会社バス会社への働きかけが今日の状況を作ってきました。ですが、そのせいで私たちの車いす持ち上げ行動はずっと減りました。昔は駅の改札口まで通りすがりの人を呼び止めて駅の階段を数人で車いすごと運びまし

た。やり馴れば出来ます、非常時には必要な動作です。車いすのどの部分を持つと安全かは、車いすごとに違います。乗っているご本人にどこを持ってよいかよく聞いて、落ち着いて、周りとお息をあわせて、運んでください。ただし最新の電動車いすは100キロを超すようなものもあります。そんな時は無理をせず、ご本人だけを運ぶことを優先させましょう。ただし中には首など含め、体幹を自分で保持できない人もいますのでご注意ください。

スタッフ

司会・進行

宮下麻里・佐々木由紀夫

避難行動解説

成沢富雄 北原修 + 北村弥生 植田涼

安全管理者

渡辺彰子 桑原健一朗

演出グループ

小峰順子 川田夏子 板垣里美 土田庸美 肥田埜節子

演出協力

赤塚秀子

舞台技術

成沢富雄

舞台監督

板垣里美 帰山基子

避難担当舞台監督

土田正栄

施設管理

(株)エクレ

大道具

桑原健一朗 土田正栄 北原修 大島伎右助 高橋敏夫

照明

小峰順子 川田夏子 佐藤信彦 高橋敏夫

音響

土田庸美 肥田埜節子 石田昌弘 森野達雄

字幕

浦田昭雄 石田昌弘

場内アナウンス

佐藤登美子 帰山基子

受付

清水佳子 東條富夫 飯沼伊都衣 小林正

会場係

高橋裕見子 公民館利用団体関係者

休憩室係

北原修 宮下麻里 (ケータリング)

楽屋係

肥田埜節子

広報媒体デザイン

前田奈津子 成沢富雄

記録

大野義彦 杉澤綾乃

申込書・登録証作成

杉澤綾乃

アンケート作成・集計

杉澤綾乃 伊藤駿

報道対応

中尚人 浦田昭雄 成沢富雄

避難行動対応

土田正栄 佐々木由紀夫 成沢富雄

協力

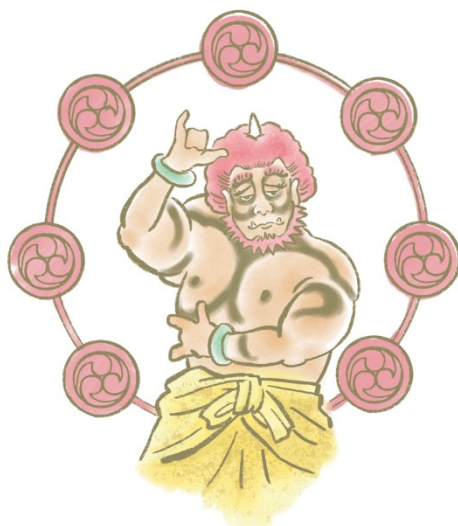
北村弥生(医学博士、防災士)

植田涼(自立生活センター・所沢ファントム)

所沢中央消防署

「避難体験と「コンサート」の目的

- ① ホールスタッフの災害発生時の対応訓練
- ② ホール利用者(主催者)の災害発生時の対応訓練
- ③ 災害発生時、観客の主體的な判断と行動が可能な環境づくり
ホールの構造をよく知っている観客を増やす
災害時に困っている人への手助け体験を蓄積する
起きている事態を知らせ、スタッフと観客の情報格差を極小にする
- ④ 障害者利用があたりまえとなるホール利用環境への整備
- ⑤ 製作過程も含め、舞台芸術の真価が現れる体験を育む



共催: 所沢まちづくりセンター／NPO法人シアターサポ

会場: 所沢まちづくりセンター中央公民館ホール

所沢市元町27番5号 電話 04—2926—9355

【所沢まちづくりセンターへの地図】



アクセス

西武池袋線 所沢駅西口

西武池袋線 西所沢駅

西武新宿線 航空公園駅

いずれも下車徒歩 15分

ところバス南路線吾妻循環コース

山口循環コース

所沢まちづくりセンター下車

地下の市営駐車場は駐車台数に限りがあるので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。